

タイトル [ゴシック/太字/14ポイント/中央揃え]

<空白行>

—副題 (サブタイトル) [明朝/普通/12ポイント/中央揃え/

前後をダッシュで囲む] —

<空白行>

<空白行>

筆頭 著者・共著者 一人¹⁾・明朝 普通¹⁾・中央 揃²⁾

姓12ポイント²⁾・姓六 名六³⁾*

岡山理科大学理学部応用数学科

1)岡山理科大学大学院理学研究科修士課程応用数学専攻

2)岡山理科大学総合情報学部数理情報学科

3)岡山理科大学工学部情報工学科 [明朝/普通/8ポイント]

<空白行>

<空白行>

<空白行>

1. 章題 [ゴシック/普通/9ポイント]

1-1 項目題 [明朝/普通/9ポイント]

本文では、以下の点に注意して下さい。次項より使用する文字の種類(フォント/太さ/大きさ)、段組、その他の順で説明を記載しています。

<空白行>

1-2 文字の種類

本文には、次の文字を使用して下さい。

- ・フォント : 明朝
- ・字の太さ : 普通または標準
- ・大きさ : 9ポイント

<空白行>

1-3 段組について

本文は、1段組または2段組で記載して下さい。(この例は2段組で作成しています。)1ページの文字数と行数は下記の書式を使用して下さい。

- ・1段組の場合 : 1行48文字*48行
- ・2段組の場合 : 1行24文字*48行*2段

<空白行>

1-4 章題・項目題の空白行の位置について

章題の直前の行は空白行として下さい。

章題と項目題の間には空白行を入れないで下さい。項目題の直前が章題でない場合のみ、項目題の直前の行を空白行として下さい。

<空白行>

1-5 禁則処理について

可能であれば、句読点や「」などを行頭に置かない、あるいは、「(」などを行末に置かない、などの

禁則処理をして下さい。

ワープロにある禁則処理機能の使用をお勧めします。ちなみに、前の行は禁則処理され25文字目の「。」が、次行に送られずに行末に残っています。

<空白行>

2. 標題部について

論題・著者名・著者の所属についての書式は、上記のフォント/太さ/大きさに合わせて下さい。各々の間に入っている空白行の数も、上記に合わせて下さい。

<空白行>

3. 上下左右の余白について

上端より3.5cm、下端より3cm、左端右端より2.5cmの余白を取って下さい。

<空白行>

4. 図・写真について

図や写真は原稿中に作成して下さい。(別途添付することも可能ですが、その場合は原稿中の該当位置を空白とし、図・写真の番号及び説明文をその空白の下に記載して下さい(この例は、写真は別添の場合のものです)。番号及び説明の大きさは、9ポイントです。

入力信号



出力信号



図1 入出力の関係[9pt] 写真1 評価装置[9pt]

原則として図や写真の番号はアラビア数字による連続した続き番号を使用して下さい。

<空白行>

5. 表について

表は極力小さくし、原則として縦線は入れないで下さい。また、表のタイトルは表の上端中央に記載し、凡例等解説は表の下端に左詰めで記載して下さい。

	上	下	左右
余白	3.5	3.0	2.5

※単位は cm

<空白行>

6. 参考文献の参照方法について

各分野の慣行に従った方法¹⁾で行って下さい。この例では、文献番号を振る方法を用いています。

また、参考文献の記載には、指定の種類²⁾の文字³⁾を使用して下さい。

<Space Line>

<Space Line>

Title[Century, Roman, Times Roman, Times New Roman /16 pt / Centering / Boldface]

— Subtitle[Century, Roman, Times Roman, Times New Roman / 14 pt / Centering]—

<Space Line>

<Space Line>

Author name, 2nd author¹⁾, 3rd author[same above / 12 pt / Centering]¹⁾,

4th author²⁾, 5th author²⁾ and 6th author³⁾ *

Department of Applied Mathematics, Faculty of Science[Italic / 9 pt / Centering],

1) Graduate School of Science,

2) Department of Mathematical Information Science, Faculty of Informatics,

3) Department of Information & Computer Engineering, Faculty of Engineering,

Okayama University of Science,

1-1 Ridai-cho, Kita-ku, Okayama 700-0005, Japan

<Space Line>

<Space Line>

<Space Line>

Please read the section seven “Foreign language abstract” at first. Use the font : Century, Roman, Times Roman or Times new Roman / the size : 10 pt / justification here.

<Space Line>

Keywords: word1; word2; word3(font は抄録部と同じ / Size : 10 pt / 普通名詞の場合すべて小文字 / 固有名詞の場合には先頭は大文字 / 最後のキーワードの後ろにピリオドを付す); word4.

7. 欧文抄録について

本文が日本語である場合は、欧文抄録を作成して下さい(投稿規程第7条参照)。書式は、下記の例を参照して下さい。抄録本文は、1段組で記載し、原則として、両端揃え(justification)とし1単語が行を跨る場合には、慣用にしがってハイフオン(-)でつないで下さい。

また、改ページせず論文部と同じページに記載する場合は、論文部との間に空白行を2行設けて下さい。

A分冊の場合は、1行空けて、必ず最後にキーワードを記載して下さい。(No. 42 A (2006)~)

<空白行>

参考文献

1) 扇元啓司・伊藤敏敏：学術情報の上手な仕上げ方，川島書店(1994)

2) 明朝／普通／8ポイント[本文が欧文の場合:Century, Roman, Times Roman, Times New Roman / 8 pt]

3) 1段組または2段組